

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(福岡県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『沖ノ島と宗像大社と金製指輪』
むなかたたいしゃ



○ 沖ノ島と宗像大社とともに国宝・金製指輪をデザインしています。

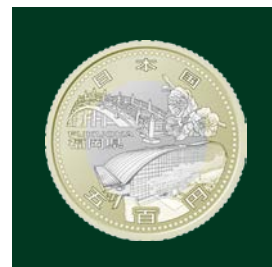
※沖ノ島：4世紀後半から9世紀末まで、対外交流の成就と航海の安全を祈って国家的祭祀が行われた玄界灘の絶海の孤島。「海の正倉院」といわれ、22ヶ所の祭祀遺跡が良好に保存されており、出土した約8万点の奉獻品すべてが国宝に指定されている。

※宗像大社：沖ノ島の沖津宮（おきつみや）、大島の中津宮（なかつみや）、田島の辺津宮（へつみや）の三宮からなる神社。朝鮮半島に向かう海の道「海北道中（かいほくどうちゅう）」を守る宗像三女神を奉斎している。辺津宮の本殿及び拝殿は国の重要文化財に指定されている。

※金製指輪：沖ノ島の出土品の一つ。同種の指輪が韓国慶州の新羅王陵からも出土しており、朝鮮半島の三国時代に新羅からもたらされたものと考えられている。1962年（昭和37年）に国宝に指定。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『九州国立博物館と太宰府天満宮太鼓橋と梅』



○ 九州国立博物館と太宰府天満宮太鼓橋とともに梅の花をデザインしています。

※九州国立博物館：平成17年10月に開館した国内4番目の国立博物館。「遠の朝廷（とおのみかど）」と呼ばれた九州・太宰府の地に建っており、「海の道、アジアの路」をテーマに、アジア各国と日本の文化交流の歴史を展示している。

※太宰府天満宮太鼓橋：太宰府天満宮の心字池（しんじいけ）に架かる橋。太鼓橋・平橋・太鼓橋の三橋からなり、それぞれが過去・現在・未来を表しているとされる。

※梅：福岡県の「県の花」であり、菅原道真公を慕って一夜のうちに京から太宰府へ飛んできたといえられる「飛梅」は有名。

(福岡県作成資料より)